

平成29年度10月号 [10月16日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

あきらめない心

校長 安部正幸

市民体育祭(新人戦)が9月25日(月)から10月6日(金)の2週間にわたって行われました。できる限りの時間をとって、各会場に応援に行かせてもらいました。その中で、私が特に印象に残った三場面を紹介します。

陸上競技女子800メートル決勝

400mトラック2周、8人の選手で競われる決勝レースも2周目終盤、第4コーナーに入ったところで8人中6~7番目。3位入賞、県大会出場も厳しいかと思われた次の瞬間、最後の直線のラストスパート。一気に加速し3~4人を抜く。ゴール手前では団子状態。しかしそこから抜けだし見事3位に入賞。先に1位でゴールした姉とともに、県大会出場の切符を手にする。

ソフトテニス女子団体戦予選リーグ

セット数2-2でむかえたファイナルセット。4-6であと一本取られたら敗戦が決まる場面。そこから2本取り返し6-6のデュースに。そしてさらに1本とり、ついに東中のアドバンテージ。最後の一本、敵の打球がコートの外へ。審判のアウトの宣告。結果的に後がないところから4本連取し逆転の勝利。その力は、その後チームの力となり予選リーグ全勝という結果に結びつく。

男子バスケットボール準々決勝

第3クォーター終了時点で27-44と17点のビハインド。残るは第4クォーター8分間のみ。普通なら諦めムードが漂うところ。顧問は選手にオールコートマンツーマンディフェンスを指示。失敗すれば点差が広がる。賭に出る。「最後まであきらめるな」の声がかかる。作戦が的中し遂に追いつき逆転。試合終了3秒前、敵の放ったショットが外れ勝利を手中にしたかに思えた。しかしそのリバウンドボールが不運にも敵の選手に落ち、ゴール下からのショットを決められ同点。延長戦へ。延長戦も接戦が続く。試合時間残り1秒余り、得点は63-65と2点のビハインド。マイボールのスローイン。そのボールを受け取った選手は、そのままやや遠い位置から3ポイントショットを放つ。ボールが空中にあるときに試合終了のブザーが聞こえる。次の瞬間、そのボールはゴールリングに吸い込まれリングネットをゆらす。これがブザービーター、一瞬の静寂、時が止まる。電光掲示板が66-65に変わり試合終了。この瞬間、東中の3位以内入賞が確定した。

「あきらめたらそこで試合終了!」私が顧問をしていたときの口癖です。今回、この他にも、東中生の「あきらめない心」を多くの場面で見ることができました。そして部活動が間違いなく、生徒達の強い心を育てるよい機会になっていることを実感しました。